

日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド  
資産成長型（米ドルコース）

## 償還 運用報告書（全体版）

第16期（償還）（償還日 2024年1月15日）

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

「日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド資産成長型（米ドルコース）」は、信託約款の規定に基づき、2024年1月15日に信託期間が終了し、償還いたしました。

ここに、設定以来の運用状況と償還内容をご報告いたしますとともに、受益者のみなさまのご愛顧に対しまして、重ねてお礼申し上げます。

## 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2008年11月12日から2024年1月15日までです。
運用方針	投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。）に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	「PIMCO エマージング・マーケット・ボンド・ファンド」受益証券 「マネー・オープン・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券、短期社債等、コマーシャル・ペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行ないません。 外貨建資産への直接投資は行ないません。
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。

&lt;952761&gt;

## 日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号  
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404  
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

## 【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ディバースファイド（ヘッジなし・円ベース） （参考指数）		債 組 入 比	券 率	投 資 信 託 組 入 比	純 資 産 額
	(分配落)	税 分 配	達 金 額	期 騰 落	中 率				
	円 銭		円		%		%	%	百万円
12期(2020年1月15日)	24,891		70		15.0	304.53		15.5	1,568
13期(2021年1月15日)	24,235		25	△	2.5	296.77		△ 2.6	1,476
14期(2022年1月17日)	25,447		25		5.1	315.03		6.2	1,369
15期(2023年1月16日)	25,164		25	△	1.0	306.50		△ 2.7	1,153
(償還時)	(償還価額)								
16期(2024年1月15日)	30,015.68		—		19.3	373.01		21.7	800

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ディバースファイド」は、JPモルガンが発表している、新興国の債券市場の合成パフォーマンスを表す指数です。なお、設定時を100として2024年1月15日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

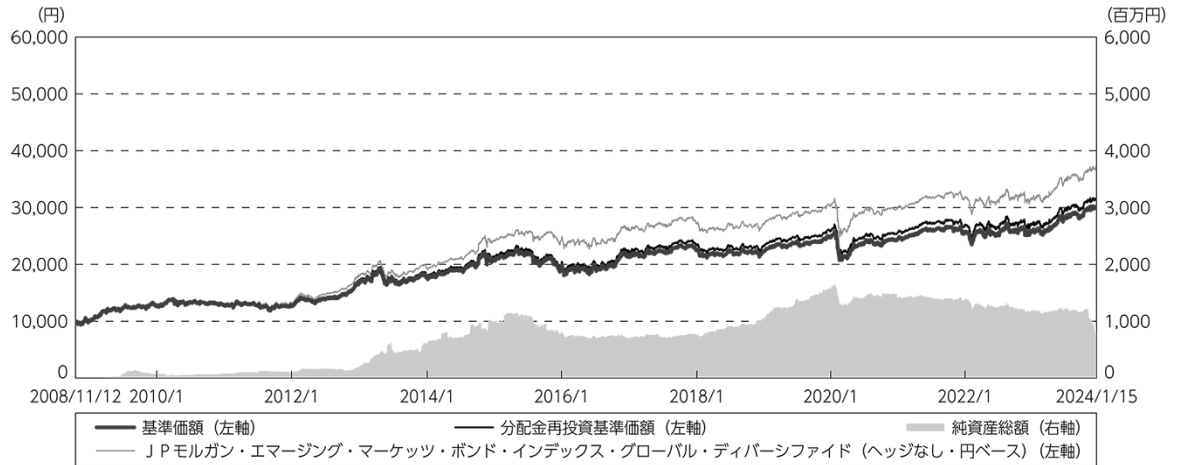
年 月 日	基 準 価 額		J P モルガン・エマージング・ マーケット・ボンド・インデックス・ グローバル・ディバースィファイド (ヘッジなし・円ベース) (参考指数)		投 資 信 託 証 入 比 率
	円 銭	騰 落 率 %	騰 落 率	騰 落 率 %	
(期 首) 2023年 1月16日	25,164	—	306.50	—	97.3
1月末	25,794	2.5	314.91	2.7	97.5
2月末	26,290	4.5	321.89	5.0	97.8
3月末	25,696	2.1	315.28	2.9	97.6
4月末	26,013	3.4	319.70	4.3	97.3
5月末	26,963	7.1	332.93	8.6	97.6
6月末	28,472	13.1	351.14	14.6	97.7
7月末	28,129	11.8	347.09	13.2	97.6
8月末	28,917	14.9	356.57	16.3	97.7
9月末	28,729	14.2	354.42	15.6	97.6
10月末	28,545	13.4	349.31	14.0	97.6
11月末	29,832	18.6	366.03	19.4	90.6
12月末	29,801	18.4	366.37	19.5	95.3
(償還時) 2024年 1月15日	(償還価額) 30,015.68	19.3	373.01	21.7	—

(注) 騰落率は期首比です。

## ○運用経過

(2008年11月12日～2024年1月15日)

## 設定以来の基準価額等の推移



設 定 日：10,000円

期末(償還日)：30,015円68銭(既払分配金(税込み)：845円)

騰 落 率：214.5% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) JPMorgan Emerging Markets Bond Index Global Diversified (Hedgeless, Yen-based)は、設定時の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) JPMorgan Emerging Markets Bond Index Global Diversified (Hedgeless, Yen-based)は当ファンドの参考指数です。

## ○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、米ドル建ての新興国ソブリン債を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっておりまいた。信託期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

## &lt;値上がり要因&gt;

- ・組み入れていた新興国債券から利息収入を得たこと。
- ・新興国債券のスプレッド(利回り格差)が縮小したこと。
- ・円安/アメリカドル高が進行したこと。

### <値下がり要因>

- ・米国国債利回りが上昇（債券価格は下落）したこと。

## 投資環境

### （新興国債券市況）

新興国債券市況は期間を通じて見ると上昇しました。期間の初め、米国住宅ローンバブルの崩壊に端を発した世界金融危機からの回復に伴ない、上昇して始まりました。その後、欧州債務問題のほか、中国人民元切り下げ、米中貿易摩擦、新型コロナウイルスの感染拡大といった新興国債券市況の重しとなる要因はあったものの、金利の積み上げなどにより緩やかな上昇を続けました。期間末には、ロシアによるウクライナ侵攻、その後のインフレ上昇による米国での急速な利上げにより、新興国債券市況は大きく下落する局面も見られました。しかし、期間を通じて見ると金利の積み上げ効果などにより新興国債券市況は上昇しました。

### （国内短期金利市況）

期間の初めから2013年1月下旬にかけては、日銀が利下げに踏み切ったことから短期金利は低下し、その後も日銀が金融緩和の強化を実施したことなどから、無担保コール翌日物金利は概ね0.1%を挟んだ水準で推移し、国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は概ね0.1%を上回る水準で推移しました。

2013年2月上旬から2016年2月前半にかけては、日銀が2013年4月に「量的・質的金融緩和」を導入したことなどから、無担保コール翌日物金利は、概ね0.1%を下回る水準で推移しました。その間、TB3ヵ月物金利は、2014年9月にはマイナス金利まで低下し、その後も概ね0.0%を挟んだ水準で推移しました。

2016年2月後半以降は、日銀によるマイナス金利政策の導入を受けて、無担保コール翌日物金利は-0.01%近辺、TB3ヵ月物金利は-0.22%近辺まで低下して期間末を迎えました。

### （為替市況）

信託期間中における主要通貨（対円）は、右記の推移となりました。



## 当ファンドのポートフォリオ

（当ファンド）

当ファンドは、収益性を追求するため、「PIMCO エマージング・マーケット・ボンド・ファンド」受益証券を高位に組み入れ、「マネー・オープン・マザーファンド」受益証券への投資を抑制しました。

当ファンドは2008年11月12日の設定以来、約15年2ヵ月にわたり運用してまいりました。このたび、約款の規定に基づき、信託終了日を2024年1月15日として償還いたしました。

これまでのみなさまのご愛顧に対しまして、心より厚くお礼申し上げますとともに、今後とも弊社投資信託をご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

（PIMCO エマージング・マーケット・ボンド・ファンド）

新興国の国別選択においては、金融・財政政策、国内の政治情勢、地政学的リスクの影響度合いの観点からパフォーマンスに差異が生じると考え、投資対象の選別をより慎重に行ないました。具体的には、ブラジルやメキシコなどのようなファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）が良好な国を概ね積極姿勢としました。一方、フィリピンなどのアジア諸国については、利回り面での魅力が乏しいことなどに鑑み、消極姿勢としました。

（マネー・オープン・マザーファンド）

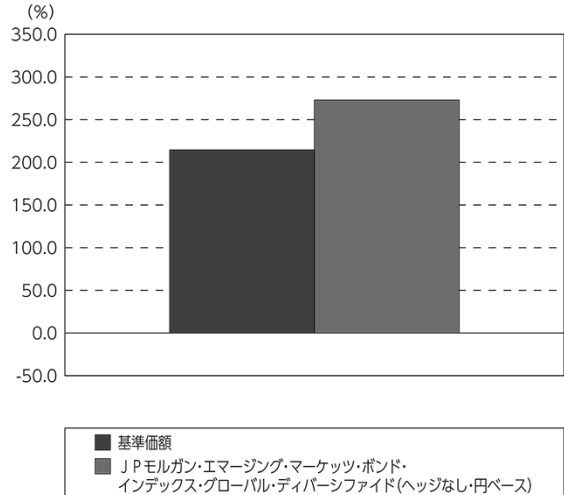
運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コールローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率です。

基準価額と参考指数の対比（設定日比騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金再投資ベースです。

（注）J Pモルガン・エマーシング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ディバーシファイド（ヘッジなし・円ベース）は当ファンドの参考指数です。

## 分配金

信託期間中における分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案して決定し、1万口当たりの累計は845円（税込み）となりました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたしました。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年 1 月17日～2024年 1 月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	487	1.755	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(265)	(0.954)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(213)	(0.768)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	( 9)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	19	0.070	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	( 1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 等 ）	( 18)	(0.066)	印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用など
（ そ の 他 ）	( 0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	506	1.825	
期中の平均基準価額は、27,765円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

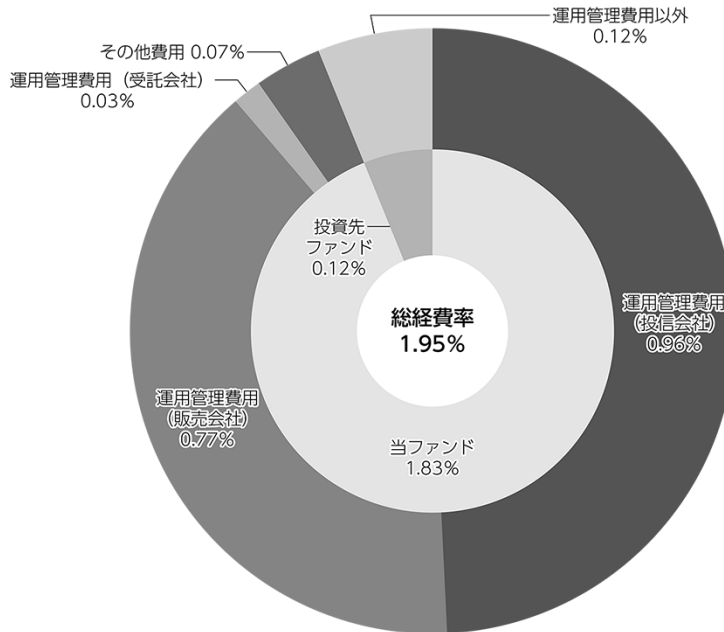
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。



## （参考情報）

## ○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.95%です。



(単位:%)

総経費率(①+②+③)	1.95
①当ファンドの費用の比率	1.83
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	—
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.12

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認いただけますが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2023年1月17日～2024年1月15日)

## 投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	PIMCO エマージング・マーケット・ボンド・ファンド	千口 15	千円 66,086	千口 296	千円 1,359,782

(注) 金額は受け渡し代金。

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄		設定		解約	
		口数	金額	口数	金額
	マネー・オープン・マザーファンド	千口 131	千円 133	千口 1,320	千円 1,340

## ○利害関係人との取引状況等

(2023年1月17日～2024年1月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2023年1月17日～2024年1月15日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

## ○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2023年1月17日～2024年1月15日)

該当事項はございません。

## ○組入資産の明細

(2024年1月15日現在)

2024年1月15日現在、有価証券等の組入れはございません。

## ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	期首(前期末)	
		口	数
PIMCO エマージング・マーケット・ボンド・ファンド			千口 281
合	計		281

## 親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	
		口	数
マネー・オープン・マザーファンド			千口 1,188

## ○投資信託財産の構成

(2024年1月15日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 810,856	% 100.0
投資信託財産総額	810,856	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

## ○資産、負債、元本及び償還価額の状況（2024年1月15日現在）

項 目	償 還 時
	円
(A) 資産	810,856,031
コール・ローン等	810,856,031
(B) 負債	10,833,045
未払解約金	204,623
未払信託報酬	9,844,306
未払利息	90
その他未払費用	784,026
(C) 純資産総額(A-B)	800,022,986
元本	266,534,987
償還差益金	533,487,999
(D) 受益権総口数	266,534,987口
1万口当たり償還価額(C/D)	30,015円68銭

(注) 当ファンドの期首元本額は458,464,019円、期中追加設定元本額は25,649,372円、期中一部解約元本額は217,578,404円です。

(注) 1口当たり純資産額は3.001568円です。

## ○損益の状況（2023年1月17日～2024年1月15日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	40,373,310
受取配当金	40,380,253
支払利息	△ 6,943
(B) 有価証券売買損益	107,323,549
売買益	158,553,150
売買損	△ 51,229,601
(C) 信託報酬等	△ 21,071,544
(D) 当期損益金(A+B+C)	126,625,315
(E) 前期繰越損益金	65,668,427
(F) 追加信託差損益金	341,194,257
(配当等相当額)	( 535,978,249)
(売買損益相当額)	(△194,783,992)
償還差益金(D+E+F)	533,487,999

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 2023年1月17日～2024年1月15日の期間に、信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要した費用は8,231,095円です。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

## ○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2008年11月12日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2024年1月15日		資産総額	810,856,031円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	10,833,045円
受益権口数	1,000,000口	266,534,987口	265,534,987口	純資産総額	800,022,986円
元本額	1,000,000円	266,534,987円	265,534,987円	受益権口数	266,534,987口
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万円当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	2,944,461円	2,933,885円	9,964円	0円	0.00%
第2期	56,190,655	72,552,448	12,912	70	0.70
第3期	59,973,695	78,138,903	13,029	70	0.70
第4期	88,837,801	111,545,240	12,556	70	0.70
第5期	107,644,079	178,214,283	16,556	70	0.70
第6期	337,274,543	608,421,234	18,039	70	0.70
第7期	482,951,301	983,026,873	20,355	70	0.70
第8期	411,742,863	792,219,985	19,241	70	0.70
第9期	326,396,351	709,569,265	21,739	70	0.70
第10期	335,288,557	771,331,112	23,005	70	0.70
第11期	468,139,671	1,016,273,273	21,709	70	0.70
第12期	630,008,993	1,568,159,102	24,891	70	0.70
第13期	609,141,056	1,476,280,490	24,235	25	0.25
第14期	538,248,999	1,369,706,519	25,447	25	0.25
第15期	458,464,019	1,153,695,954	25,164	25	0.25

## ○償還金のお知らせ

1万円当たり償還金（税込み）	30,015円68銭
----------------	------------

## ○お知らせ

## 約款変更について

2023年1月17日から2024年1月15日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。